

「【歴史的仮名づかい】と【現代仮名づかい】を確認しよう！

①「むかひて」②「とほさざるなし」③「なむいひける」を現代仮名づかいに直し、すべてひらがなで書きなさい。

答え①

答え②

答え③

ロ【主語と述語】

1 次の①の文を、意味は変えずに「私」を主語にした文に書き換えると、「祖母が」、「頼んだ」はそれぞれどのようになりますか。
②の文の **A** と **B** に当てはまる言葉を書きなさい。

① 祖母が私に庭の草取りを頼んだ。

答え **A**

答え **B**

② 私は祖母 **A** 庭の草取りを **B**。

2 田中さんは、絵の鑑賞文を書き始めています。田中さんが書き始めた文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

これは、レオナルド・ダ・ヴィンチが描いた「モナ・リザ」という絵です。

この絵の特徴は、どの角度から見ても女性と目が合います。

傍線部「この絵の特徴は、どの角度から見ても女性と目が合います。」は、「この絵の特徴は」と「目が合います」との言葉の関係が不適切です。この文の内容を変えないように、「合います」の部分の適切に書き直しなさい。

答え

3 「息をのむ」は「驚いて、思わず息を止める」様子を表す慣用句です。「息をのんだ」を文末に用いた一文を書きなさい。なお、「息をのんだ」の主語を明らかにした上で、「誰(何)」の「どのようなこと」に「息をのんだ」のかが分かるように書くこと。

答え

目 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

【文章と資料との関係を考える！】

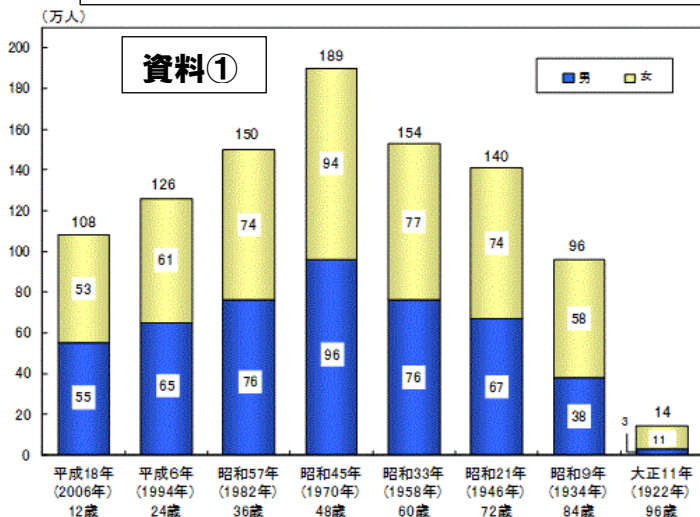
平成30年1月1日現在における戌（いぬ）年生まれの人口は976万人です。総人口1億2660万人に占める割合は7.7%となっています。

男女別にみると、男性は475万人、女性は502万人で、女性が男性より27万人多くなっています。最も多く戌（いぬ）年生まれの人が住んでいるのは東京都で、最も少ないのは島根県となっています。

戌（いぬ）年生まれの人口を出生年別にみると、昭和45年生まれ（平成30年に48歳になる人）が189万人と最も多くなっています。次いで昭和33年生まれ（同60歳になる人）が154万人、昭和57年生まれ（同36歳になる人）が150万人、昭和21年生まれ（同72歳になる人）が140万人、平成6年生まれ（同24歳になる人）が126万人、平成18年生まれ（同12歳になる人）が108万人などとなっています。

総人口を十二支別にみると、丑（うし）年生まれが1097万人で最も多く、子（ね）年（1081万人）、未（ひつじ）年（1076万人）などと続いており、戌（いぬ）年生まれの12番目で、最も少なくなっています。

「総務省ホームページ」より



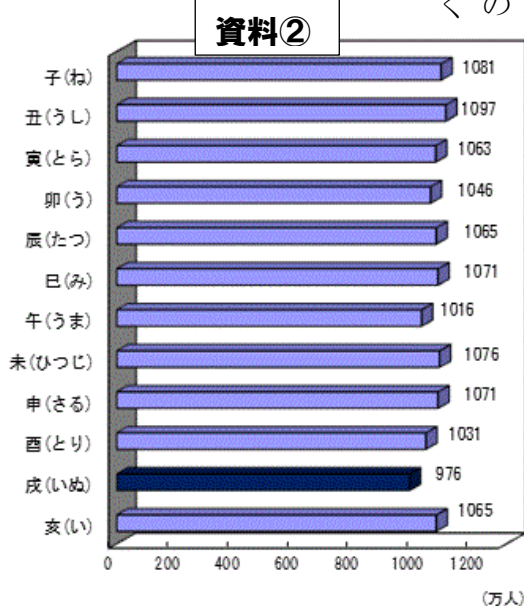
答え

問二 文章をわかりやすくするための3つの資料のうち、説明になくてもよい資料は①③のうち、どの資料だと考えられるか。一つ選びなさい。

問一 文章中に資料からは、読み取ることの出来ない内容の書かれた一文を抜き出し、初めの三字を書きなさい。

答え

十二支	人口 (万人)	総人口に占める割合 (%)	人口順位
総数	12660	100.0	—
子(ね)	1081	8.5	2
丑(うし)	1097	8.7	1
寅(とら)	1063	8.4	8
卯(う)	1046	8.3	9
辰(たつ)	1065	8.4	6
巳(み)	1071	8.5	4
午(うま)	1016	8.0	11
未(ひつじ)	1076	8.5	3
申(さる)	1071	8.5	4
酉(とり)	1031	8.1	10
戌(いぬ)	976	7.7	12
亥(い)	1065	8.4	6



問一 文章中に資料からは、読み取ることの出来ない内容の書かれた一文を抜き出し、初めの三字を書きなさい。

Ⅳ 中学校の国語の授業で、「情報化社会を生きる私たちに必要なこと」というテーマの意見文を書いています。目標は、「構成を工夫して、自分の意見を明確に述べること」です。今日の授業では、ほぼ完成した意見文をグループ内で読んで話し合い、それを参考にして自分の意見文を推敲することにになりました。次の文章は、同じグループの小森さんと村上さんが書いた意見文です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【小森さんの意見文】(①から③は段落の番号を表します。)

【村上さんの意見文】

① 現代は、メールが普及し、便利になっている。昔に比べると、気軽に素早くメッセージをやりとりできる時代になった。しかし、私たちは、こうした伝達手段によって、お互いを深く理解し合えていると言えるだろうか。逆に不十分なメッセージによって、誤解が生まれるようなことさえあるのではないだろうか。

② 先日、友達からこんな話を聞いた。ちょっとしたことでもけんかを書かれたメールが届いたのだそう。けんかをするのはもう終わりにして、また仲良くしようという意味なのか、もう友達づきあいには終わりにしようという意味なのか、悩んだと言っていた。

③ 手軽なメールは、確かに便利である。しかし、そのためにお互いに直接会って話し合うようなコミュニケーションが軽視されるのでは意味がないと思う。

情報があふれている社会で、私たちに必要なものは、必要な情報を選択する力と、情報の正しさを判断する力だと思う。この二つの力がなければ、私たちは情報に流されてしまうのではないだろうか。私には、一年生の時に失敗してしまった経験がある。夏休みの自由研究で「絶滅のおそれがある野生動物」というテーマのレポートを作成し、提出した。ところが、参考にしたインターネットのホームページの内容が正しいかどうか疑問だという指摘を先生からいただいたのだ。私は、改めてホームページを確かめてみた。すると、五年前から一度も更新されていないものがあった。情報を何も考えずに受け入れてしまうことは、とても危険である。情報をうのみにせず、本当に必要なものを選び、正しく判断できる力こそ私たちに求められているものなのだ。

問一 小森さんは、【村上さんの意見文】を読んで、自分の意見文の書き出しに次の一文を書き加えることにしました。

情報化社会と呼ばれる現代だからこそ、お互いに顔を合わせてのコミュニケーションを大切にすることが必要だ。

このことから、小森さんが村上さんの意見文をどのように評価したことが分かりますか。次の1から4のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 村上さんの意見文は、読み手に問いかけるように自分の体験を紹介しているため、読み手の共感を誘う点が良い。
- 2 村上さんの意見文は、多くの人々が感じる疑問から書き始めているため、読み手が話題をとらえやすい点が良い。
- 3 村上さんの意見文は、身近な例を挙げて説明しているため、書き手の考えが読み手に具体的に示される点が良い。
- 4 村上さんの意見文は、結論を述べてから論を展開しているため、書き手の考えが読み手に明確に伝わる点が良い。

答え

問二 村上さんは、【小森さんの意見文】を読んで、内容ごとに段落を分けている点が良いと思いました。そこで、小森さんの書き方を参考に段落を分けることにします。次の文章は、そのことを説明したものです。あとの1から4のうち、アからカの組み合わせとして最も適切なものを1つ選び、文章を完成させなさい。

【小森さんの意見文】の三つの段落は、

ア 「問題提起」、「まとめ」、「具体例」
イ 「問題提起」、「具体例」、「まとめ」

の順に分けられている。

これにならうと、【村上さんの意見文】は、

ウ 「私には、一年生の時に」
エ 「私は、改めて」

の前と

オ 「情報を何も考えずに」
カ 「情報をうのみにせず」

の前

で改行して、三つの段落に分けると良い。

- | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ア | ・ | ウ | ・ | オ | 2 | ア | ・ | エ | ・ | カ |
| 3 | イ | ・ | ウ | ・ | オ | 4 | イ | ・ | エ | ・ | カ |

答え



【解答】

①むかいて ②とおさざるなし ③なんいいける

1 Aに B頼まれた

2 (例)合うことです。(合うところ です。)

3 (例)展望台から見える景色の美しさに、私は息をのんだ。

ボールを追いかけて道に飛び出した子どもの姿に、周囲は思わず息をのんだ。

問一 最も多(初めの三字)

問二 資料②

問一 4

問二 3